

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月12日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社アバールデータ

コード番号 6918 URL <http://www.avaldata.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 嶋村 清

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部部长

(氏名) 大関 拓夫

TEL 042-732-1000

四半期報告書提出予定日 平成22年2月15日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	2,956	△32.5	△305	—	△185	—	△43	—
21年3月期第3四半期	4,381	—	68	—	161	—	31	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	△5.73	—
21年3月期第3四半期	4.05	4.05

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	10,203	9,092	83.0	1,138.28
21年3月期	10,112	9,259	85.3	1,113.52

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 8,465百万円 21年3月期 8,630百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	7.00	—	8.00	15.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,110	△22.9	△340	—	△190	—	△30	—	△3.95

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第3四半期 8,064,542株 21年3月期 8,064,542株

② 期末自己株式数 22年3月期第3四半期 627,227株 21年3月期 314,227株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第3四半期 7,591,370株 21年3月期第3四半期 7,805,399株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想等の前提となる条件等については、5ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一部で景気が持ち直してきているものの、企業業績及び雇用情勢や所得環境の悪化が懸念されるなど、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループに関連深い半導体製造装置業界におきましては、半導体メモリーの需給バランスが緩和され、半導体メーカーの設備稼働率は徐々に好転しておりますが、半導体製造装置市場の事業環境の本格的な回復には至っておりません。

このような経営環境のもと、当社グループは顧客の信頼を得るため、品質の確保、コストの低減及び新規分野の顧客開拓や新製品投入に取り組みました。

画像・通信分野においては、情報の高速・大容量伝送を可能にする自社LSIにより、自社製品の高付加価値製品展開の基礎として新規顧客の開拓、製品の差別化・競争力の向上が図られました。今後更なる高速化に向け自社LSI開発を推進するとともに、受託製品の営業展開においても提案営業のキーデバイスとして積極的に活用してまいります。

また当社グループは、昨年度よりの受注低迷に対応すべく、あらゆる経費の見直しを行い、引き続き固定費の削減に努めました。

このようななか、当第3四半期連結累計期間後半においては、受注の改善傾向が見られましたが、売上の本格的な回復には至らず、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,956百万円（前年同四半期比32.5%減）、営業損失は305百万円（前年同四半期は68百万円の利益）、経常損失は185百万円（前年同四半期は161百万円の利益）、四半期純損失は43百万円（前年同四半期は31百万円の利益）となりました。

品目別売上高の状況は次のとおりであります。

① 受託製品 半導体製造装置関連

当該品目は、半導体製造装置の制御部を提供しております。半導体価格の回復、半導体メーカーの設備稼働率の改善により一部半導体メーカーの設備投資が再開され、当第3四半期連結累計期間後半においては受注の改善傾向が見られましたが、前半の大きな落ち込みにより売上高は大幅に減少いたしました。

この結果、売上高は1,071百万円（前年同四半期比24.3%減）となりました。

② 受託製品 産業用制御機器

当該品目は、各種の産業用装置、分析機器等の制御部の開発・製造を行いカスタマイズ製品として提供しております。新製品の投入や新規顧客開拓が進み、当第3四半期連結累計期間後半よりFA全般において受注に改善の兆しが見られましたが、売上高は大幅に減少いたしました。

この結果、売上高は534百万円（前年同四半期比28.3%減）となりました。

③ 受託製品 計測機器

当該品目は、各種計測機器のコントローラ、通信機器の制御部の開発・製造を行いカスタマイズ製品として提供しております。中でも電力関連機器につきましては住宅関連需要の低迷により、売上高は大幅に減少いたしました。

この結果、売上高は382百万円（前年同四半期比34.0%減）となりました。

④ 自社製品 組込みモジュール

当該品目は、半導体製造装置、FA全般、電力・通信関連向けに提供しております。その中で最も売上比率が高い半導体製造装置関連に加えFA全般の需要は当第3四半期連結累計期間後半より受注の改善に転じましたが、前半の大きな落ち込みにより売上高は大幅に減少いたしました。

この結果、売上高は236百万円（前年同四半期比44.7%減）となりました。

⑤ 自社製品 画像処理モジュール

当該品目は、FA全般、各種検査装置、液晶関連機器に提供しております。自社LSIを搭載した新シリーズの発売などによる製品競争力の強化を行い、売上比率が高い液晶関連機器に加えFA全般は当第3四半期連結累計期間後半より受注の改善に転じましたが、前半の大きな落ち込みにより売上高は大幅に減少いたしました。

この結果、売上高は234百万円（前年同四半期比44.5%減）となりました。

⑥ 自社製品 計測通信機器

当該品目は、超高速シリアル通信モジュール「GiGA CHANNEL」シリーズ、FAXサーバ・コールセンター向けCTI（Computer Telephony Integration）及びリモート監視機器を提供しております。「GiGA CHANNEL」シリーズにおいては、自社LSIを搭載した新シリーズの発売などによる製品競争力の強化を行いました。半導体製造装置に加えFA全般は当第3四半期連結累計期間後半より受注の改善に転じましたが、前半の大きな落ち込みにより売上高は大幅に減少しました。一方CTI製品においては大口受注に恵まれ比較的順調に推移いたしました。

この結果、売上高は431百万円（前年同四半期比28.3%減）となりました。

⑦ 商品 自社製品関連商品

当該品目は、自社製品の組込みモジュール、画像処理モジュール、計測通信機器の販売促進とシステム販売による高付加価値化を図るためのソフトウェア及び付属の周辺機器を提供しております。商品売上に影響のある自社製品全般は当第3四半期連結累計期間後半より改善に転じましたが、大口受注の減少により売上高は大幅に減少いたしました。

この結果、売上高は64百万円（前年同四半期比65.5%減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末から91百万円増加し10,203百万円となりました。流動資産につきましては、主に、現金及び預金が188百万円増加、受取手形及び売掛金が130百万円増加、商品及び製品が138百万円減少、仕掛金が30百万円減少、原材料及び貯蔵品が13百万円増加、その他が未収還付法人税等の減少等により171百万円減少した結果、8百万円減少し5,782百万円となりました。固定資産につきましては、現状の経営環境を背景に積極的な設備投資は行っておらず、主に、減価償却により有形固定資産が100百万円減少、無形固定資産が11百万円減少、また、投資有価証券の時価が回復した事等により、投資その他の資産が211百万円増加しております。その結果、99百万円増加し4,421百万円となりました。

負債につきましては、流動負債においては、主に、原材料等の購入増加に伴い支払手形及び買掛金が227百万円増加、また、賞与引当金が36百万円減少、その他が預り金の増加等により44百万円増加した結果、244百万円増加し625百万円となりました。固定負債においては、主に、その他が繰延税金負債の増加により11百万円増加した結果、13百万円増加し486百万円となりました。この結果、負債合計では、257百万円増加し1,111百万円となりました。

純資産の部につきましては、主に、利益剰余金が配当金の支払額62百万円及び四半期純損失43百万円の合計により105百万円減少、自己株式取得により152百万円減少、投資有価証券の時価が回復した事により、その他有価証券評価差額金が93百万円増加した結果、前連結会計年度末から166百万円減少し9,092百万円となりました。また、自己資本比率は、前連結会計年度末の85.3%から2.3ポイント減少し83.0%となりました。

また、キャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フローは、減価償却費の計上、仕入債務の増加、たな卸資産の減少、法人税等の還付額等の増加要因が、税金等調整前四半期純損失の計上、売上債権の増加、投資有価証券売却益の計上等の減少要因を上回ったことにより、377百万円の増加（前年同四半期は597百万円の増加）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の払戻、投資有価証券の売却等といった増加要因を、定期預金の預入、投資有価証券の取得等といった減少要因が上回ったことにより、170百万円の減少（前年同四半期は76百万円の増加）となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間におけるフリー・キャッシュフローは、206百万円の増加（前年同四半期は673百万円の増加）であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、自己株式の取得及び配当金の支払等の減少要因により、218百万円の減少（前年同四半期は143百万円の減少）となりました。

以上、営業活動、投資活動、財務活動によるキャッシュ・フローの結果により、現金及び現金同等物の当第3四半期連結会計期間末残高は、前連結会計年度末に比べ、11百万円減少し、2,647百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、平成21年10月21日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期 連結会計期末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,337,786	3,149,219
受取手形及び売掛金	951,498	821,019
有価証券	10,137	10,124
商品及び製品	305,393	443,999
仕掛品	252,695	283,121
原材料及び貯蔵品	588,476	575,467
その他	336,381	507,833
流動資産合計	5,782,370	5,790,786
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,316,699	1,316,699
その他(純額)	1,066,037	1,166,778
有形固定資産合計	2,382,736	2,483,478
無形固定資産		
70,197		81,726
投資その他の資産		
投資有価証券	1,889,284	1,677,058
その他	109,971	110,549
貸倒引当金	△30,683	△30,783
投資その他の資産合計	1,968,571	1,756,824
固定資産合計	4,421,505	4,322,029
資産合計	10,203,876	10,112,816
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	449,916	222,106
未払法人税等	7,752	—
賞与引当金	53,434	89,476
その他	113,965	69,321
流動負債合計	625,068	380,904
固定負債		
退職給付引当金	85,678	83,268
役員退職慰労引当金	77,030	77,030
その他	323,333	312,247
固定負債合計	486,041	472,546
負債合計	1,111,110	853,450

(単位：千円)

	当第3四半期 連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,354,094	2,354,094
資本剰余金	2,459,689	2,459,689
利益剰余金	3,095,269	3,200,733
自己株式	△261,205	△109,156
株主資本合計	7,647,848	7,905,361
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	817,907	724,804
評価・換算差額等合計	817,907	724,804
新株予約権	4,421	1,105
少数株主持分	622,588	628,094
純資産合計	9,092,765	9,259,366
負債純資産合計	10,203,876	10,112,816

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
売上高	4,381,788	2,956,528
売上原価	3,104,885	2,231,481
売上総利益	1,276,903	725,047
販売費及び一般管理費	1,208,237	1,030,411
営業利益又は営業損失(△)	68,665	△305,364
営業外収益		
受取利息	3,986	2,746
受取配当金	80,679	65,050
助成金収入	—	36,619
その他	8,445	15,617
営業外収益合計	93,111	120,033
営業外費用		
為替差損	509	—
支払手数料	142	606
その他	56	—
営業外費用合計	707	606
経常利益又は経常損失(△)	161,069	△185,936
特別利益		
投資有価証券売却益	69,828	100,877
その他	—	100
特別利益合計	69,828	100,977
特別損失		
固定資産売却損	80	—
固定資産除却損	844	646
投資有価証券評価損	157,146	—
特別損失合計	158,071	646
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	72,826	△85,605
法人税、住民税及び事業税	20,521	7,518
法人税等調整額	15,584	△47,906
法人税等合計	36,106	△40,387
少数株主利益又は少数株主損失(△)	5,108	△1,756
四半期純利益又は四半期純損失(△)	31,610	△43,461

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	72,826	△85,605
減価償却費	158,520	128,601
賞与引当金の増減額(△は減少)	△87,003	△36,042
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△23,198	—
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△4,190	—
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△10,003	2,409
受取利息及び受取配当金	△84,665	△67,797
助成金収入	—	△36,619
固定資産除却損	844	646
固定資産売却損益(△は益)	80	—
有価証券及び投資有価証券売却損益(△は益)	△69,828	△100,877
有価証券及び投資有価証券評価損益(△は益)	157,146	—
売上債権の増減額(△は増加)	282,144	△130,478
たな卸資産の増減額(△は増加)	295,922	156,022
未収入金の増減額(△は増加)	165,590	42,260
仕入債務の増減額(△は減少)	△233,291	227,810
未払消費税等の増減額(△は減少)	△7,759	△260
その他	2,544	45,950
小計	615,679	146,019
利息及び配当金の受取額	85,054	68,473
助成金の受取額	—	37,192
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△103,054	125,686
営業活動によるキャッシュ・フロー	597,679	377,373
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△508,000	△700,000
定期預金の払戻による収入	524,000	500,000
投資有価証券の取得による支出	△99,797	△56,456
投資有価証券の売却による収入	171,406	101,502
有形固定資産の取得による支出	△6,171	△6,159
無形固定資産の取得による支出	△6,698	△9,427
その他	1,307	△189
投資活動によるキャッシュ・フロー	76,046	△170,730
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△18,088	△152,048
自己株式の処分による収入	990	—
配当金の支払額	△109,346	△62,263
少数株主への配当金の支払額	△17,250	△3,750
財務活動によるキャッシュ・フロー	△143,694	△218,062
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	530,031	△11,419
現金及び現金同等物の期首残高	1,910,592	2,659,344
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,440,623	2,647,924

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. 生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

品 目	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	
	金額(千円)	前年同四 半期比(%)	金額(千円)	前年同四 半期比(%)
受託製品				
半導体製造装置関連	1,043,893	—	884,168	△15.3
産業用制御機器	666,283	—	437,129	△34.4
計測機器	384,626	—	314,410	△18.3
小計	2,094,802	—	1,635,709	△21.9
自社製品				
組込みモジュール	271,659	—	120,723	△55.6
画像処理モジュール	217,573	—	108,351	△50.2
計測通信機器	306,448	—	175,103	△42.9
小計	795,681	—	404,178	△49.2
合計	2,890,484	—	2,039,887	△29.4

(注) 1 金額は製造原価にて表示しております。

2 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

3 前第3四半期連結累計期間の前年同四半期比につきましては、四半期適用初年度であるため記載しておりません。

(2) 商品仕入実績

品 目	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	
	金額(千円)	前年同四 半期比(%)	金額(千円)	前年同四 半期比(%)
自社製品関連商品	165,790	—	52,987	△68.0
合計	165,790	—	52,987	△68.0

(注) 1 金額は仕入価格にて表示しております。

2 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

3 前第3四半期連結累計期間の前年同四半期比につきましては、四半期適用初年度であるため記載しておりません。

(3) 受注状況及び販売状況

① 受注高

品 目	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	
	金額(千円)	前年同四 半期比(%)	金額(千円)	前年同四 半期比(%)
半導体製造装置関連	1,295,372	—	1,293,085	△0.2
産業用制御機器	716,654	—	556,711	△22.3
計測機器	568,117	—	438,730	△22.8
合計	2,580,144	—	2,288,528	△11.3

② 受注残高

品 目	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	
	金額(千円)	前年同四 半期比(%)	金額(千円)	前年同四 半期比(%)
半導体製造装置関連	76,242	—	287,825	277.5
産業用制御機器	205,356	—	178,614	△13.0
計測機器	91,222	—	121,603	33.3
合計	372,821	—	588,044	57.7

③ 販売実績

品 目	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	
	金額(千円)	前年同四 半期比(%)	金額(千円)	前年同四 半期比(%)
受託製品				
半導体製造装置関連	1,415,920	△53.4	1,071,911	△24.3
産業用制御機器	746,161	9.9	534,817	△28.3
計測機器	579,524	△26.5	382,430	△34.0
小計	2,741,606	△39.1	1,989,159	△27.4
自社製品				
組込みモジュール	427,545	△46.8	236,538	△44.7
画像処理モジュール	422,364	0.3	234,285	△44.5
計測通信機器	602,411	△37.6	431,739	△28.3
小計	1,452,321	△33.7	902,563	△37.9
商品				
自社製品関連商品	187,860	△11.7	64,805	△65.5
合計	4,381,788	△36.6	2,956,528	△32.5

(注) 1 金額は販売価格にて表示しております。

2 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

3 ①受注高及び②受注残高の前第3四半期連結累計期間の前年同四半期比につきましては、四半期適用初年度であるため記載しておりません。